

演題

歯牙形態の類似性（基本三形態と上下臼歯）

氏名 片岡繁夫

抄録

歯牙形態には形態を構成する定義がある。

補綴物製作における、天然歯形態の再現は、その定義を知ることが大切である。

天然歯形態は、大まかに尖形、方形、円形の基本三形態に区分することができる。

天然歯形態を形成する、近遠心の隅角表徴、歯頸腺の形状、隣接面観における唇側面の形状、切縁観における唇側面観の形状にて、天然歯形態の定義を知ることができる。

これらの、部分における観察から、基本三形態に於いて、それぞれの形態に属する、形態の類似性を見ることができる。

臼歯においても、咬合面形態にそれぞれの部位において、形態の類似性を見ることができる。

上顎中切歯における、基本三形態の類似性と上下臼歯部における、形態の類似性を解説する。

略歴

1972 行岡医学技術専門学校歯科技工士科卒業

1984 大阪セラミックトレーニングセンター開校

1989 (有)片岡セラミック開業

1994 大阪セラミックトレーニングセンター宮崎校 開校

2006 (有)ZERO publishing 設立

2015 龍馬塾 開塾

大阪セラミックトレーニングセンター 主宰

有限会社片岡セラミック 代表

I V O C L A R 社国際インストラクター